



軽費 / 特養 / 高齢者在宅サービスセンター / サービス付き高齢者向け住宅 / ケアハウス / グループホーム / 小規模多機能

No. 308号

2013(平成25年) 3月

〒190-0022 東京都立川市錦町6-28-15 TEL 042-527-0031(代) FAX. 527-2646

発行人：橋本正明

編集：広報委員会

ホームページ：http://www.shisei.or.jp/ Eメール：shisei-home@shisei.or.jp

Shisei Senior Service Center

至誠ホーム調布柴崎ケアセンター オープン!!



至誠ホーム調布若葉ケアセンター
至誠ホーム調布柴崎ケアセンター
センター長 河合晴夫

事は予定通り1月末には終え、家具や電化製品などの搬入を終えオープンを待つばかりとなりました。3月28日にはセンターのオープニングセレモニーと内覧会を行う予定になっています。

4月には、介護相談センター（居宅介護支援事業所）とデイホーム（デイサービス）がオープンしセンターの3事業が揃うことに成ります。

デイホームでは、フィットネス（専門家による健康づくり）、ウエルネス（健康な体・心・社会生活のバランス）入浴・足浴・食事等の多様なプログラム、リラククス（レスト）のスリーエス（3エス）活動により豊かなひと時を過ごすことのできる短時間デイを目指します。

平成24年1月にオープンした至誠ホーム調布若葉ケアセンターでは、グループホーム、介護相談センター（居宅介護支援事業所）とデイホーム（デ

鮮やかな赤い門に描かれた「至誠ホーム調布柴崎ケアセンター」の文字が陽光に映えています。京王線の「柴崎駅」北口から歩いて3分ほどの甲州街道沿いのビルの1階にセンターはあります。先行して1月17日には、調布市で10ヶ所目となる「調布市地域包括支援センター至誠しほさき」がオープンしました。
デイホーム（デイサービス）の改修工

イサービス）を運営しています。
1月9日には開設1周年を記念して「開設記念を祝う会」を開催することができました。4月からは、増加する認知症高齢者の方々へのケアを行うデイホーム（デイサービス）をオープンします。

若葉ケアセンターから直線で1.5キロ程の距離にある柴崎ケアセンターでは、若葉ケアセンターで培ってきた地域との関係作り・共生・思いやりの心を大切にしながら、近隣の方々にとって安心と信頼のできる柴崎ケアセンターへと職員一同努めてまいります。

〈至誠ホーム調布柴崎ケアセンター〉

調布市菊野台1-52-4

TEL 042-488-1200



デイホームの明るい居室

《JICA》からの研修生 井上シモニー小百合さんを迎えて & ブラジル「あけぼのホーム」のご紹介

前年度に引き続き、JICA（国際協力機構）の「日系研修受け入れ事業」により、昨年の11月12日から今年の1月29日までの約2カ月半の期間でブラジルからの研修生を受け入れました。

研修生の井上シモニー小百合さんはブラジルのサンパウロ市にある「あけぼのホーム」という老人ホームで看護師をしている方です。

井上さんが働いている「あけぼのホーム」はその名の通り、主に現地で暮らす日系人を対象にした施設です。

歴史を紐解くと、戦時中、中断していた海外移住はその後昭和27年に再開され、ブラジルにも多くの日本人が移住しました。そこで熱心に働いた日系移民たちは、ブラジルの農業発展に大きく貢献したと言われています。そうした方々が年を重ね、介護が必要となって生活をしている場がこの「あけぼのホーム」です。そして井上さん自身も群馬県出身の祖父母を持つ日系3世です。



クラブに参加中の井上さん

井上さんはこちらでの研修中、特にお風呂のことに注目をしていました。それはあけぼのホームの入居者が「ゆっくりとお風呂につかりたい」と口をそろえて言う光景を間近に見てきたからです。そう、ブラジルではシャワーの入浴スタイルだからです。寝たままの状態に入れるお風呂や、身体に負担のかかる方向けのミストタイプ

のお風呂まで、こちらでは一人ひとりの状態に合わせてお風呂に入れるようになっていいることが、井上さんにとっては驚きだったようです。もちろんお年寄りの気持ちよさそうな表情を見て、日本人とお風呂の関係について十分に理解できたことは言うまでもありません。

他に井上さんの研修目的の一つに、「チームケアやスタッフの育成方法を学ぶ」という内容がありました。これは井上さんがあけぼのホームで看護師のリーダーの役割を持っていることから考えられた目標でした。

今回、さまざまな部署に研修に入り、介護の工夫や技術面を学ぶ中で、テクニクではない、「介護に対する考え方」の理解につながったと実感しています。このことにより、あけぼのホームに戻っても自信を持ってスタッフの教育に当たれることだと思います。

研修当初を振り返ると、井上さんは日本語があまり得意なほうではなく、口数も多くありませんでした。しかし研修で学びを深めていくにつれ、次第に表情も明るくなり積極的に研修をすることが出来るようになっていきました。

そして最終日には横浜にあるJICAの事務局で研修報告を行い、無事に研修修了証を授与され、晴れ晴れとした面持ちでブラジルに帰国されたのでした。



利用者の方ともすっかり打ち解けました

このように海外からの研修生を受け入れることは言葉の壁もあるため、互いに難しい要素が確かにあります。

しかし至誠ホームで介護の考え方を学ばれた方が遠い異国の地で活躍される姿を思うと、それはとてもやりがいを感じると同時に、我々の重要なミッションだという思いを新たにします。

最後に井上さんご本人が最終日に報告した時の言葉で終わりたいと思います。

「至誠ホームでは日本語が苦手な私に丁寧に教えてくれました。お年寄りもお話ししてくれて嬉しかったです」そして「私の祖父母の故郷に連れて来られて本当に良かった。日本は素晴らしい国です。学んだ成果をあけぼのホームで活かしたいと思います」

新春クラブ発表会

錦特養三階 柏木成美

平成25年1月16日に、毎年恒例の新春クラブ発表会が開催されました。今年度は昨年度と同様、9つのクラブが参加されました。

新春クラブ発表会は、利用者の皆さんの日頃の活動の成果を発表する場であり、また、その達成によって新たな意欲を引き出す場でもあります。昨年度も会を進行する手伝いをさせていただいた際に、利用者の皆さんの生き生きとした表情ややる気に満ちた表情を間近で見させていただきました。大きな会ですので、非常に不安も大きかったのですが、何より利用者の皆さんが楽しむことができるか、また、それを見に来てくださる方も楽しむことができるかどうかを考えながら、準備を進めました。

そして発表会当日、橋本ホーム長による開会の挨拶と共に開演されました。利用者の皆さんは、舞台上上がる時は緊張の面持ちですが、いざ発表が始まると、日頃の練習の成果を十分に発揮していました。日常生活の中ではなかなかみることが出来ない表情をたくさん見る事ができました。

きました。

また今年度は、観覧されている利用者の皆さんが今まで以上に会を楽しむことができるようにとの配慮で、発表する歌の歌詞カードを作り、それを配布しているクラブが多くありました。手元に歌詞があることにより、観覧している方も一緒に歌い、会を楽しむことができていると思います。普通の発表会のように、発表者が舞台上上がり、お客さんは静かに聞いているという発表会も悪くないですが、会場全体で盛り上がるのができた今年の新春クラブ発表会も、なかなか良かったのではないかと思います。普段はクラブ活動に参加することが難しい方も、一緒に歌ったり、身ぶり手ぶりをしたりと楽しんでる姿を見る事ができました。「発表会、とってもよかったですね。」そんな言葉を、発表会に参加した利用者から聞くことができました。「みんな楽しんで発表会」が来年も開催されることを祈っています。



至誠ホームボランティア講演会をおえて

ボランティアコーディネーター 寺澤 育代

12月1日、住民流福祉総合研究所所長、木原孝久氏をお迎えし、ボランティア講演会を行いました。参加者は41名で、あつという間の二時間でした。

お話はまずは「ボランティアのあり方について」から始まりました。

「年をとると何もボランティアができないように思えますが、実は『いるボラ』というのがあります。森林浴が体に良いのは、樹木が発散するフィトンチッドという物質を浴びるからです。老人の目からも同じような物質が出ていて、それは森林浴ならぬ老人浴です。子どもが老人ホームに来るとその物質で子どもの心が落ち着きます。また家に老人がいると心やさしい子どもが育ちます。百歳の寝たきりのおばあさんの笑顔に会いにボランティアが来ます。皆、何らかの方法で人の役に立っているのです。ボランティアの人口はどこにでもあります。」

次は「助け合いの地域をどう作っていくか」についてでした。

「自分や家族の困りごとはオープンにするこ

とが大切です。

人に迷惑をかけてはいけないという日本人の常識は福祉の非常識なのです。東京都内の孤立死が多いのは50〜60代の男性



で、生活に行き詰った時に「助けて〜」と言えないからです。「助けて〜」と言われた時、10人に9人は助ける気持ちがあるのに助け合いが始まらないのはおせっかいと言われるからです。大事なことは①おせっかいさんをつぶさない。②「助けて〜」と言う練習をする。③日ごろから困ったことをご近所に知らせる。この3つです。ご近所同士さりげなく、お互いさまになるように、助ける人はまず助けてもらう経験をしましょう！」

ボランティアは誰でもできる、どこでもできるということ、少々おせっかいといわれてもめげずに困っている人に関わること、困りごとは口に出すことの大切さを学びました。

講演する木原先生





平成25年1月までに
お手紙コーナーに
いただいたご意見
ご要望

平成24年10月から平成25年1月までに
いただいたお手紙をご紹介します。
要望1件、その他1件の計2件でした。

◆日野橋からの入口がわかりづらいので
至誠ホーム入口と大きな看板が希望です
(要望)

(L24-03 錦地区本館1階)
日野橋方面からお車で錦地区へ来られ
る際、入口がわかりづらいため、もう少
しわかりやすい方法で案内をしていただ
きたい、というご要望でした。

【回答】
ご意見有難う存じます。ご指摘の掲示
の訂正も改良が必要と考えておりました。
ホーム内外の掲示も含めて、よりわかり
易く、案内・自動車走行のご注意など全
体を見直し、新年(平成25年1月)から
新しい表示・掲示したいと検討中です。
よろしくお願いたします

【回答者】
統括事務局 統括事務局長 金井裕一



予定より遅れましたがこのように標識
が設置されました。(2月14日)

◆大変きれいで整理整頓が出来てい
てきれいですね。入りたいぐらいで
す。(その他)

(L24-04 調布若葉ケアセンター)
見学の際のご感想でした。

【回答】

至誠ホーム調布若葉ケアセンターへの
ご見学ありがとうございます。

センターは近隣の住宅地に配慮し、木
造2階建ての耐火建築になっています。

建物、テーブル、椅子、カーテン、家具、
備品などのデザインと色彩を工夫し、居
心地の良い場所づくりを目指しています。
センターでは、介護相談センター、グ
ループホーム、デイホームの事業を行っ
ています。グループホームは調布市に住
所があり、認知症の方で要支援2以上の
方がご利用できます。デイホームは半径
2キロ程度の方々にご利用していただい
ています。

今後とも、地域の方々に利用しやすい

財団法人熊崎報恩財団よりのご支援

至誠特別養護老人ホーム園長 吉上恵子

昨年12月に熊崎報恩財団の経済援助
により、おしほりウォーマー・加湿器・
冷蔵庫を購入致しました。どれも利用者
に必要な備品で、大変有難い思いです。
熊崎報恩財団は「社会福祉事業を営
むる団体(施設)に対して仏教主義の理
念から経済援助すること」などを目的と
して熊崎閑田氏が設立、昭和44年以来毎
年44期に渡る御寄付金贈呈の実績がお

ありです。その恩恵を受けた施設数、
ご寄付の額は目を見張る数字に上って
います。
当施設は、この度2度目のご支援を
頂戴しました。高崎直道現理事長を初
めとする法人の役員の皆様へ深く感謝
申し上げますと共に、今後も活動のご継
続をお願い申し上げます、御礼のご報告と
致します。



冷蔵庫



おしほりウォーマー



加湿器

センター運営に努めてまいりますので、
よろしくお願ひ申し上げます。

【回答者】

調布若葉ケアセンター長 河合晴夫

至誠ホームでは、皆様からのご意見等
をお待ちしております。各施設に設置さ
れております、お手紙ポストや、苦情受
付専用電話をご利用ください。

至誠ホームのサービスに関する
ご意見・ご要望・苦情の窓口

〒190-0022

立川市錦町6-28-15

至誠ホーム「利用者相談委員会」

専用電話 042(527)0374

FAX 042(527)2646



後援会コーナー

ご支援に心からの感謝です

至誠ホーム長 橋本 正明

今期から後援会の会計年度を1月から12月に変更させていただきました。それはご寄付を頂戴した会員の皆様の確定申告の際の便宜と、3月までに後援会様からのご寄付を拝受し、当該年度の至誠ホームの決算に計上させていただきますと考えての事でした。

さて、平成24年後援会様から年会費及び募集いただいた単年度のご寄付合わせて430万円近いご寄付をホームに頂戴出来ました。この貴重な資金は新しい(仮称)錦第二特養建設資金に使わせていただきます。現在の予定では平成28年4月を目指して準備中の新施設です。予定地は旧甲州街道沿いで、以前は11階建ての立川マンションが建っていた土地です。3年後の開設を目指して努力しています。が今一番の課題は自己資金の調達です。後援会様から頂戴したこの貴重な資金はそのために有効に使用させていただきま。地域の皆様の役に立つ施設づくりを進めてまいります。皆様の温かいご支援本当に有難うございました。

至誠ホーム後援会

平成24年度事業報告

1. 役員会(第1回) 平成24年5月14日(月) (至誠ホームスオミ センター4階)
2. 役員会(第2回) 平成24年12月19日(水) (至誠ホームスオミ ラウンジ4階)
3. 永年会員褒章 至誠ホーム開設記念日にて 平成24年6月2日 78名
4. ホーム祭り・長寿を祝う会にお花を贈る
5. 至誠学舎100周年〜至誠まつり〜にお花を贈る
6. バザー協賛
7. 至誠ホームへ寄付 4,296,000円(12/27現在)

平成25年度事業計画

1. 役員会 2回
2. ホーム事業協力 開設記念日、長寿を祝う会にお花を贈る
3. 永年会員褒章 ホームまつりに於いて
5. バザー協賛
6. 至誠ホームへ寄付
7. その他

後援会費納入者ご芳名

誠に有難うございました。厚くお礼申し上げます。(敬称略・順不同)
 平成24年12月1日〜平成24年12月31日

鳥山八重子 河原 弘
 (株)ユーアイ自動車工業 清本昌邦
 岡田 清 井上富士子 山下記代子
 高倉洋子 春山順子 林 个
 坂本博子 庄司洋子 以上11名

平成25年度予算書

<収入の部>至誠ホーム後援会 単位:円

平成25年1月1日~平成25年12月31日

科目	25年度予算	24年度予算	増減額	摘要
会費収入	2,100,000	2,100,000	0	
寄附収入	1,600,000	1,600,000	0	
雑収入	100	500	▲400	郵便貯金利息他
前期繰越金	1,673	2,000	400	
計	3,701,773	3,702,500	0	

<支出の部>

科目	25年度予算	24年度予算	増減額	摘要
通信費	80,000	80,000	0	はがき、切手等
印刷費	10,000	10,000	0	
会議費	10,000	10,000	0	
振込手数料	36,000	36,000	0	振替口座手数料他
事業費	30,000	30,000	0	開設記念・長寿祝い
雑費	4,000	5,000	▲1,000	
寄付金	3,500,000	3,500,000	0	至誠ホームへ寄付
予備費	31,773	31,500	1,000	
計	3,701,773	3,702,500	0	

平成24年度収支決算書

<収入の部>至誠ホーム後援会 単位:円

平成24年4月1日~平成24年12月31日

科目	24年度決算	24年度予算	差引額	摘要
会費収入	2,138,000	2,100,000	38,000	
寄付金	2,309,000	1,600,000	709,000	
雑収入	2	500	▲498	郵便貯金利息ほか
前期繰越金	8,806	2,000	6,806	
計	4,455,808	3,702,500	753,308	

<支出の部>

科目	24年度決算	24年度予算	差引額	摘要
通信費	74,330	80,000	▲5,670	はがき、切手等
印刷費	0	10,000	▲10,000	
会議費	8,655	10,000	▲1,345	
振込手数料	33,150	36,000	▲2,850	振替口座手数料他
事業費	42,000	30,000	12,000	ホーム事業参加費他
雑費	0	5,000	▲5,000	
予備費	0	30,000	▲30,000	
寄付金	4,296,000	3,500,000	796,000	至誠ホームへ寄付
次期繰越	1,673	1,500	173	
計	4,455,808	3,702,500	753,308	

ボランティア受入 / 福祉学習協力状況

Table with 3 columns: 種類, 期間, 平成24年度 12月~1月, 平成24年度 累計. Rows include 一般ボラ, インターンシップ, ボランティア体験, 実習・研修, 体験学習, 見学・視察, ご慰問・ご招待.

ボランティア活動状況 活動内容別

Table with 3 columns: 活動内容, 期間, 平成24年度 12月~1月, 平成24年度 累計. Rows include 生活支援, 健康づくり, 生き甲斐支援, 地域支援, 行事, 事務等, ボランティア体験, 合計.

ボランティア活動状況地区別

Table with 3 columns: 地区別, 期間, 平成24年度 12月~1月, 平成24年度 累計. Rows include 錦地区, 幸・柏地区, 国分寺地区, 合計.

至誠ホーム利用者状況

(平成24年12月1日~25年1月31日) ():実人数

Large table with 5 columns: 事業内容, 12月, 1月, 累計. Rows are categorized by 事業部 (自事業, 委託事業) and 事業種別 (介護保険, 介護事業, 事業).

* 入居施設定員 至誠特別養護老人ホーム150名、至誠ホームキートス70名、至誠ホームミナ小規模特養29名、至誠和光ホーム50名
至誠ホームスオミ・ケアハウス50名、至誠ホームスオミ・グループホーム9名、至誠ホームミナグループホーム18名
** サービス付高齢者向け住宅せせらぎ15戸 高齢者専用賃貸住宅「家」7戸

<> はV体験で内数

ホーム日誌

平成24年12月1日~平成25年1月31日
CH・ケアハウス、GH・グループホーム
自主研・職員自主研修会

- 12月
1土 ともしび法話会(錦地区) / 至誠ホームボランティア講演会
2火 フィンランド研修報告会
職員自主研「腰痛予防」感染症対策(キートス) / 職員自主研「認知症について」(キートス)
3水 餅つき(錦) / 職員自主研「認知症について」(キートス)
4木 消防署よりフレンズミニコンサート
5金 杉井弁護士相談日
6土 第三者評価訪問調査(錦特) / 職員自主研「アクティブ福祉報告」「ちようふ花園交換研修」(キートス)
7日 都知事・衆議院選挙不在者投票(和光・錦特) / 食事懇談会(キートス) / 給食委員会(和光) / コーヒータイム(ミナ)
8月 ハッピーサンクスパーティー(スオミ) / クリスマス会(錦特) / 職員忘年会
9日 ぷらつとなみきサロン(ミナ)
10日 おもちゃ図書館(キートス)
11土 全体集会(和光・錦特) / 運営推進会議(若葉GH) / 英語クラブクリスマス会
12日 特和会、各消防署(立川、錦町、日野、高幡、国立)あいきつ回り情報公表訪問調査(錦特)
13金 主任・サブ研修(錦特)
14水 運営推進会議(スオミGH)
15火 運営懇談会(スオミCH) / 井原先生相談日
16木 コーヒータイム(ミナ)
17金 もちつき(ミナ)
18土 新年祝賀式(錦・スオミGH・キートス・ミナ・若葉GH)
19日 ともしび法話会(錦地区)
20火 ホーム委員会(錦特)

感謝録

- 9水 開設記念を祝う会(若葉)
10木 食事懇談会(キートス) / 給食委員会(和光) / コーヒータイム(ミナ)
11土 家族会幹事会(錦特・和光) / キートス集会 / 餅つき大会(キートス)
12水 新春クラブ発表会(錦地区) / 認知症事例研修(キートス)
13木 地域包括支援センター至誠しばぎ開設
14金 どんど焼き(錦地区)
15土 ぷらつとなみきサロン・転倒予防教室(ミナ)
16日 和光集会 / 運営推進会議(ミナ) / 後藤宇山 尺八コンサート(スオミ主催)
17月 コーヒータイム(ミナ)
18金 杉井弁護士相談日(錦地区)
19土 新入居者家族懇談会(キートス)
20日 契約職員研修(若葉)
21日 運営推進会議(ミナ)
22水 井原先生相談日(錦地区)
23木 運営懇談会(スオミCH)
24金 温かい御支援、御協力下さいました方々に厚く御礼申し上げます。
平成24年12月1日~平成25年1月31日(敬称略)

① 金員の部

- 財団法人熊崎報恩財団 高松聰子
佐藤耕司 小川栄美子 東京少年友の会
下東玲子 至誠ホーム後援会会長梅田尚裕
新井セツ子 穴山清作 庄司洋子
武富 智 秋山貞一 小川昌子
宮崎博之 竹田市郎 佐藤正文
春山順子 橋本ライヤ
21件(延339件)

② 物品の部

- 我妻豊子 小野 清 雨宮弘幸
(株)川原経営総合センター「ふくろう会」事務局
高橋恵子 高松恵子 松澤 一
玉水会会長木下衛 片山正雄 水越栄子
南雲英子 藤原充子
(株)三菱地所設計総務部 木下正己

YAZAWA LUMBER
本町化学工業(株) 鈴木 文 梅田尚裕
昌樹寺井哲全 城戸ユリ子
鴨下美智代 宗教法人真如苑
至誠ホーム出版会 25件(延96件)

③ ボランティア

(1) 一般ボランティア(錦地区)

【立川市】おはなしたまご 菊正会
NPO法人立川レクリエーション協会
髪職人 錦六茶友会 消防フレンズ
真如苑社会貢献部 鈴の会 などとしこ
談話室アイアイ みどりの会
もみじ会 悠ゆうクラブ
立正佼成会壮年部ボランティアチーム
朗読サークルこえ

- 青木早苗 麻生ミエ 安藤道子
五十嵐和子 石部トヨ子 磯野初子
板谷 亨 伊藤信子 岩谷淳子
及川悦子 及川清一 大古春子
太田 利 大竹勝義 大館純子
小川隆 奥 一郎 奥 陽子
小栗カト子 尾園栄子 加藤かつ江
梶浦善江 加藤典子 加藤 清
加藤典子 金澤シズ子 川崎秀子
神田ミヨ 貴志 力 岸 幸子
木村千世子 木村玲子 蔵田郁枝
黒羽里枝 小松万壽子 近藤庄司
坂口秀政 坂本美智子 佐々木慶吉
佐藤カヨ子 佐藤美智子 佐藤ゆかり
山同千賀子 篠原園子 篠村綾子
下東玲子 ジョージ兼路
杉田幸子 鈴木恵子 鈴木幸子
瀬戸幸子 染谷球子 鷹左右清道
鷹左右元代 高田和彦 竹下富子
田中由紀子 田原衣子 戸村和子
筒井幸雄 遠山百世 戸田フミ子
永山常子 南保智子 根岸 司
野口初子 野村祥子 橋本美津子
橋本ライヤ 初沢徳巳 坂場雛子
濱 靖子 浜中広見 古谷文子
宝諸博文 前中美佐子 前中光雄
宮内雅子 百瀬千枝 矢島美穂子
安ヶ平金造 山尾桂子 山岸國麿
山田ハル江 山本久仁子 吉川厚子

吉田一男 米山勝利 若村ふみ子
渡部調匡
【日野市】ウケホアヘレ 音楽ひろば
クイーンマジッククラブ
池田貞栄 石井匡代 今井幸子
岩下昭子 遠藤宣子 大場春子
小山浩二 金尾眞砂子 倉林 武
小塩菊子 阪内満里子 鈴木百合子
須山ひとみ 西垣まさ子 直井 節
永島律子 西野益右 山崎未来子
平沢一雄 目黒美知子
吉崎武子 明石浦子 蔵多美智子
【国立市】 国分金一 玉井末子
国生友子 中澤妙子 温品典子
戸田竜史 三谷紀子 向井みどり
久野安沙子 国分寺婦人Vグループ
芳賀邦正 芳賀久美子 前田博美
諸井 緑 湯本知恵
【他市】 聖書の会 ともしび法話会
中藤ボランティア会
阿川聰子 有坂礼子 磯崎静子
木下ほのか 榊まり子 島村正博
鈴木保明 曾我智美 丹治信江
中財真紀 広瀬尚子 渡邊綾子
延1203名

小昏久美子 斎藤 博 酒井恵子
坂口洋子 櫻井百合子 笹田恵子
澤田照代 三中西博介 三中西せい子
新林春子 鈴木洋子 高橋 貞
高橋明子 高橋ひさ 高橋 睦
高橋征子 高橋雪子 高橋好弘
田中清子 田中秀穂 田中真知子
田中美智子 田邊シズ子 塚原すみ子
辻 靖子 鶴巻清子 鳥居美都琉
中沢京子 中嶋カト子 中務信行
成田 綴 中野庸夫 西山靖子
羽鳥垂矢 服部ちづ子 濱田弘子
羽村ミサ子 松原菜都子 平野信子
福地嘉江 古島清子 別府ひろ子
本間秋子 松本和美 丸山淳子
三鴨節子 溝口礼子 宮坂一栄
宮島君代 村野紀美子 持丸 治
持丸弘子 元島美子 桃野幸子
山口弘子 山田佳子 米澤 稔
渡会和子 渡会弘恭
【国分寺市】 オージンズ 木曜会
穴山清作 井上允恵 岩崎京子
小野俊雄 小野千代 勝倉ナホミ
加藤康子 河村裕理 佐野起子
田中愛子 種市政信 時枝由美子
中山淳子 橋本美穂 藤本俊郎
藤本睦代 山本佳子 藤本俊郎
【他市】 ロゼラニ・ウイキングス
花島演芸 アンサンブルカリオン
磯崎志帆 岩崎友和 岩崎 実
井上玲子 大橋とし江 大友厚子
河野秀子 小寺義孝 佐々木染子
鈴木真弓 高野信子 高松哲夫
野本まゆみ 林 幸子 土方和子
肥田木雅子 宮本桃子 松井順子
宮崎典子 宮川好行 若杉恵美子
横川澄子 横川好行
渡辺保子
【一般ボランティア(柏センター)】 延721名
東 トク 石橋京子 市村敏雄
岩田綾子 大山紀子 黒田直子
小林正子 小林好子 斉藤 究
鈴木真弓 高橋明子 高橋雪子
中野庸夫 羽村みさ子 土方和子
平野富士枝 広木かほる 師岡恵美子

鷺沢美美
一般ボランティア(ミンナ) 延109名
【国分寺市】 熊崎咲子 熊崎 弘
笹谷信子 佐野文子 中村啓子
滝沢百合子 小林伸子 濱 ひで子
原垣内和加子 三谷雄次 角 文喜
範 瑠 井上和江 古城 渉
【他市】 千葉加奈子
一般ボランティア(もしまち) 延73名
【国分寺市】 国分寺婦人Vグループ
石橋幸子 仲 静宏(他5名)
宮田美代子 木村幸子 和田博子
池田幸子 山本賢弥 和博子
【他市】 福田洋子 中山久仁彦
吉富晶子 萬 由美 延61名
一般ボランティア(調布若葉)
【調布市】 石橋隆二 岩崎ゆづ
江上芳子 小川芳昭 押部忠康
木島敬子 クリスタル☆ベル
黒川明日香 黒川創太 小泉圭右
齋藤 孝 坂巻 論 佐々木恵子
椎名ひさよ ティンクルセラピー
中澤禮吉 深瀬やす子 山本 剛
ふれあいカルテット 萬 由美
渡辺隆雄
【(2) ボランティア体験 (錦)】 延72名
至誠保育園 延21名
(キートス) 谷本鈴響
立川市立立川第七中学校 延23名
土屋翔栄
【柏センター】 なし
(ミンナ) なし
(もしまち) なし
(調布若葉) なし

福祉学習協力

- (1) 実習研修
◎社会福祉士 NHK学園 田中初美(12日)
◎介護福祉士 東京YMCA医療福祉専門学校 塩野良・中村早希(各11日)
◎ユニットリーダー研修

【案】 空の情報

平成25年3月1日現在

☆至誠ホームミナ サービス付き高齢者向け住宅「案」(国分寺市並木町)
現在満室ですが、待機待ちのお申込みは常時受付けております。
☆サービス・設備等/高齢者向けのバリアフリー設計、安心サービス(緊急通報装置設置)付き、希望により食事サービス有、エアコン、ウォシュレットトイレ、IHキッチン、浴室有
☆全7戸、うち2戸がお二人用、5戸がお一人用
月額賃料/104,000円~162,000円 敷金/賃料の2か月分
【お問い合わせ】
至誠ホームミナ 電話 042 (300) 3700 旭・益子まで

- (4) 見学・視察 文京学院大学人間福祉学科 14名
計14名 累計175名
(5) ご慰問・ご招待 なし
計0件 累計2件
(2) 体験学習(錦地区)
東京福祉大学・東京女子体育大学・東京女子体育短期大学 計10名 延50日
(3) インターシッピング なし
計0名 累計3名
大竹紫帆・町田仁美・太田悦子・角掛竜・神なつみ・亀山雄司・田村則子・穴戸信行・緑川祥子・大倉昇・原澤のり子・出水貞江・池上恭介・鶴沢美佐子・松永寿子・荒畑香織・中井雄太・岡幸枝・鈴木佑輔・福田鉄平・赤間綾・星野多鶴・中村恭子・松原秀樹・加藤正樹・浅沼直樹・渡辺弘一・三橋裕子・相澤幹雄・木元伸也・矢田弘美・及川恭祐・田中義久・竹生明美・等々力二美・満田恵太(各5日)/太田恵・岡ちあき・柴原加代子・伊藤友栄・坂田恵子(各4日) 延234日

地域包括支援センターコーナー

立川市北部中さいわい地域包括支援センター042(5388)23339
立川市にしき福祉相談センター
042(527)0321
国分寺地域包括支援センターもとまち
042(301)5001
国分寺地域相談センターなみき
042(300)3702

「向こう三軒両隣」のちから

～災害時対応から日常生活まで～

立川市にしき福祉相談センター 坂木 淳史

ことばの意味は、文字通り「自分の家の向かいの三軒と左右の二軒の家」のこと。そこから派生して「親しい交流のある近所の家」を指すこともあります。

この関係が一番力を発揮し、また必要とされる状況のひとつが災害時です。阪神淡路大震災では、倒壊した建物の下敷きになった方のうち、実に四分の三が近所の隣人に助け出されています。東日本大震災でも、近隣の助け合いが大きな力となったのは言うまでもありません。

多くの場合、公の支援は行き届くまでにかかりの時間がかかります。その間を生き延びるのに必要なのは、近隣、つまり「向こう三軒両隣」の助け合いです。そして、その力が生きるのは災害時だけに限りません。日常生活の中でも、お年寄りや子供の見守り、犯罪の防止など、

影に日向にいろいろなところで私たちの生活を守ってくれています。逆にいえば、日常の血の通った人間関係こそが、そのまま災害時を生き延びる力になるということです。つまり自分が見守る人は、同時に自分を見守ってくれる人になる可能性もあるのです。

そのようなわけで、日頃から近所同士で気が合い、困りごとを相談できる関係があることが理想的なのですが、現実には、都市部であるほど人と人の距離の取り方が難しいのも確かなこと。プライバシーの壁は、個人を守るものであると同時に、助けを必要とする方を人のつながりから隔ててしまうものでもあります。

例えば、認知症の高齢者を家族だけで介護して疲れ切ってしまうのに、

どこに相談していいかわからない。また近所の方も、うすうすその窮状に気づいていながら、他人の家のことにとどまらず踏み込んでいいのか…と、手をこまねいてしまう。

そんな時、ご近所の方から地域の総合相談窓口である地域包括支援センターや福祉相談センターにご一報いただくのも一つの方法です。当事者の了解を得るかどうかという繊細な問題がありますが、地縁だけでは対応できない問題に、公的な立場の第三者が介入することによって解決の糸口になるかもしれません。介護以外の問題でも、ご相談に応じて必要とされる他の専門機関との間をお繋ぎいたしますので、お気軽にご相談ください。

また、立川市では従来の「立川市地域支え合いネットワーク事業」を再構築し、地域全体でお互いがゆるやかに見守り合える仕組み作りを目指しています。

「隣の人の安否が気になる」「認知症などの介護問題を抱えた家がある」「虐待しているらしい怒鳴り声が聞こえてくる」「悪質商法にだまされているのでは？」など、確信はないけれど「何か気になる」ということを、お気軽に立川市役所、地域包括支援センター、福祉相談センターにご連絡ください。4月からは市役所に見守り専用のダイヤルも開設される予定です。

詳しくは立川市からのお知らせをご覧ください。この新しいシステムを生かして、誰もが安心して住むことができる地域にするのは、一人ひとりの「向こう三軒両隣」を大切にすることが大切です。

ボランティア活動に対する表彰のお知らせ

至誠ホームでは長年ボランティア活動を行ってくださる方を色々な賞に推薦しています。本年度は12月18日都庁で行われた第61回東京都社会福祉大会で、国分寺人ボランティアグループの皆様(写真:上)が会長表彰を、ともじび法話会の皆様(写真:下)が会長感謝状を、多年にわたる社会福祉事業に貢献されたことで受賞されました。また3月16日の立川市地域文化振興財団コミュニティ奨励賞には文化・芸術に関する地域でのボランティア活動に対して遠山百代氏と談話室アイアイの皆様が受賞なさる予定です。おめでとうございます。そしてこれからもどうぞよろしくお願い致します。

